

2012 年度 小委員会活動成果報告

(2013 年 2 月 13 日作成)

小委員会名	耐震構造評価小委員会	主 査 名：北山和宏 就任年月：2011 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 原子力建築運営委員会	委員長名：中島正愛 主 査 名：瀧口克己
設 置 期 間	2011 年 4 月 ～ 2015 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・原子力施設の有する耐震裕度を明らかにするための検討を行う。 ・新たな知見を反映した RC-N 規準の改定案を立案する。 2011年度：原子力施設の耐震裕度を具体的に明示するための評価指標等の検討、RC 構造計算手法に関する新知見の調査・分析 2012年度：耐震裕度評価のための試験等の検討、RC-N 規準改定案の立案 2013年度：耐震裕度を明示した設計法・評価法検討、RC-N 規準改定版の発行 2014年度：耐震裕度を明示した設計法・評価法の策定	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：北山和宏 (首都大学東京) 幹事：梅木芳人 (中部電力) 委員：前田匡樹 (東北大学)、岸本一藏 (近畿大学)、小林恒一 (原子力安全基盤機構)、菊地利喜郎 (東京電力)、秋田昇道 (関西電力)、諏訪政雄 (中部電力)、奥谷哲也 (日本原子力発電)、圓幸史朗 (大林組)、杉田浩之 (鹿島建設)、小島功 (清水建設)、小野英雄 (大成建設)、神地正紀 (竹中工務店)	
設置 WG (WG 名：目的)	RC-N 規準改定 WG ：原子力施設の RC 構造設計手法の改定原案を立案することを目的とする。改定原案の作成にあたっては、2010 年に実施された RC 規準改定に採り入れられた新たな知見について調査・分析し、それらの反映も考慮する。	
2012 年度予算	70,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.ajj.or.jp/kouzou/s20/taishin_sc/taishin_index.html

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	1. PD「原子力発電所建屋の耐震設計 -過去・現在・未来-」 参加者数 180 名 『構造部門 (原子力建築) パネルディスカッション資料：同上』
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 建築学会外の委員会等の関連情報の収集を行った。 2. 原子力施設の耐震裕度を評価するための、解析方法および設計法の策定に向けた試験条件・計画内容について議論を行った。 3. RC-N 規準改定案の内容検討・立案を行うとともに、構造本委員会および原子力建築運営委員会による改定案の査読結果を踏まえた議論・対応を行った。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 特になし